

## 寸法および規格

### コート寸法

- コートは、18.00m×9.00mの広さを持つ長方形で、少なくとも3.00mの幅のフリーゾーンで囲まれるフリープレー空間は何の障害物もない競技エリア上の空間で、競技をする。
- 表面から、少なくとも7mの高さがなければならない。
- 国内の各種別の大会には、下記の特別競技規則が適用される。
- 自由競技空間は、競技場の上に障害物が一切無い空間であり、競技場の表面から最小限7.00mの高さがなければならない。

### ライン

- すべてのラインの幅は5cmである。それらのラインは明るい色で、また床や他のラインとも異なった色でなければならない。
- 2本のサイドラインと2本のエンドラインによって区画され、両サイドラインおよびエンドラインは、コートの寸法の内側に引かれる。センターラインの幅の中心により、それぞれの9.00mかける9.00mのコートに2等分される。しかし、センターラインは両コートに等しく属する。ラインは、ネットの真下に、サイドラインからサイドラインまで引かれる。
- アタックラインは、どちらのコートでも、そのライン幅の後端がセンターラインの幅の中心から3mとなるように引く。アタックラインによりフロントゾーンを区画する。

### 勾配

- 屋外コートでは、水はけのため1mにつき5mmの傾斜が許される。固形の素材を用いて、コートのラインとすることは禁止される。

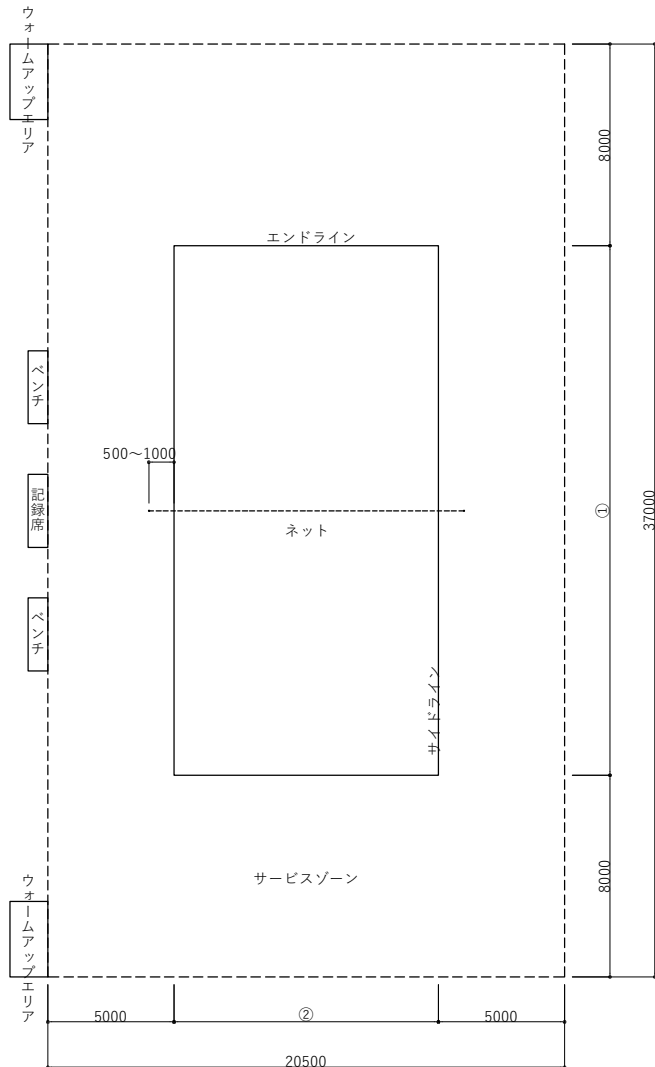
## サーフェスの材質

- FIVB世界・公式大会で許可されるのは、木製または合成材の表面だけである。すべての表面は、事前にFIVBの承認を得なければならない。
  - アリーナの構成材料は、木材・土(CLAY)、または、その以上と認められるものである。
  - 室内コートでは、コート面は明るい色でなければならない。FIVB世界・公式大会では、ラインは白色、それ以外のコートフリーゾーンはそれぞれ異なった色で区別する必要がある。
- ※競技規則に記載は無い。

## 附属品

### ネット

- ネットは縦幅1mで、長さは9.5~10m(サイドバンドの外側は両端各25~50cm)で、10cm角黒い網目でできている。その上端には、7cm幅で二つ折りの白いキャンバス地の水平な帯が、全長にわたり縫い付けられている。ネットの上端を強くしっかりと支柱に縛りつけるため、ひもを通す穴が白帯の両端にあいている。
- 柔軟性のあるケーブルが、白帯の中に通され、ネットを支柱に結び、上端を強くしっかりと張り続ける。
- ネット下端には、上端と同様の幅5cmの水平な帯があり、その中にロープが通っている。このロープでネット下端の支柱に縛り強くしっかりと張り続ける。
- 2本のサイドバンドが、ネットに垂直にしっかりと取り付けられる。その位置は両サイドラインの真上となる。サイドバンドは、幅5cm長さ1mで、ネットの一部とみなされる。
- アンテナは長さ1.80m、直径10mmの弾性のある棒で、ファイバーグラスまたは類似の素材でできている。
- アンテナは、両サイドバンドの外側の縁にしっかりと取り付けられる。2本のアンテナは、それぞれ反対のネット面に設置される。
- ネット上80cmの高さに伸び、この部分には対照的な色で、できれば赤と白で10cmごとのストライプを付ける。
- アンテナは、ネットの一部とみなされ、ボールの許容空間の横の限界を定める。



## 寸法および規格

### コート寸法

- ・コートの広さは、次表の通りとする。

種別	①長さ	②幅
一般男子	21m	10.5m
一般女子	18m	9.0m
家庭婦人	18m	9.0m

### 天井の高さ

- ・競技場の表面から最小限12.5mの高さまでの空間には、ネット、支柱、審判代を除き一切の障害物もあってはならない。

### コート

- ・コートは、幅5cmのラインによってフリーゾーンと区分けし、このラインはコートの広さに含む。ラインの長い方をサイドライン、短い方をエンドラインという。
- ・コートを区画するラインは、コートの表面と明瞭に異なる色のものとする。
- ・フリーゾーンは、最小限サイドラインから5m、エンドラインから8mの広さがなければならない。
- ・サービスゾーンは、エンドライン後方のフリーゾーンで、サイドラインの想像延長線のラインを含む内側の区域をいう。
- ・競技場の表面は、凹凸がなく水平で均一なものとする。荒れたり、滑りやすい表面で、競技者が負傷する恐れのあるものであってはならない。

## サーフェスの材質

- ・アリーナの構成材料は、木材、土(CLAY)、または、それ以上と認められるものである。
- ※競技規則に記載は無い。

## 附属品

### ネット支柱

- ・コートを二等分する線上で、それぞれサイドラインの外側50cmから1mの間に固定する。その支柱を固定するためにワイヤーなどを使用してはならない。
- ・支柱には、危険防止のためにカバー等を取り付ける。

### ネットの規格

- ・ネットは、幅1mで、両サイドラインの外側に25cm以上張れる長さがあり、黒色の網目10cm四方のものでなければならない。上端にはケーブルを通し、その上から幅10cmの白布を二つ折りにしてネットの両面に5cm幅で全長にわたって縫い付ける。
- ・ネットは、コート面に垂直に、かつ、コートを二等分するように、両支柱に強く張り固定する。この場合、ネットの幅は+3cm以内の許容範囲を認める。
- ・サイドバンドは幅5cm、長さ2mの白地のテープ状のものとする。また、両サイドライン上で、二つに折ってネットに密着して取り付ける。
- ・アンテナは、グラスファイバーまたはこれに類似する弾性のあるもので作られた、長さ1.8m、直径約1cmの棒状のもので上部から10cmごとに赤、白交互に塗ったものとする。
- ・アンテナは、ネット上に80cm出るようにして、サイドラインの外側20cmのところアンテナの内側がくるようにし、それぞれネットの反対側に密着して取り付ける。ネットの高さは、コート面の中央部で、種別に応じて、次の表の通りとする。この場合、両サイドライン上のネットの高さはコート面から等しく、かつ、規定の高さから2cmを越えてはならない。

種別	ネットの高さ (m)
一般男子	2.38
一般女子	2.15
家庭婦人	2.05